

報道関係各位

2021年7月30日  
株式会社 LIXIL

## LIXIL 2022年3月期第1四半期決算（IFRS） 第1四半期として過去最高益達成

- 欧米の好調な水まわり事業、日本事業の構造改革の進展を背景に増収増益
- 事業利益率は6.7%に改善、売上総利益率は5.0pt上昇

株式会社 LIXIL（以下 LIXIL）は本日、2022年3月期第1四半期（2021年4月-2021年6月）の決算を発表しました。

### LIXIL 社長 兼 CEO 瀬戸欣哉のコメント

「LIXIL では、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響下においても、構造改革を推進し、さまざまな変革を加速させてきました。こうした取り組みが奏功し、増収に加え、第1四半期として過去最高益を達成することができました。これは、生産性と業務効率の向上、事業ポートフォリオの最適化、アセットライト化の推進を通じて、より機動的で外部環境の変化に左右されにくく、利益率の高い企業体質を構築したことによるものです。その結果、財務目標の達成に向かって着実に前進しています。持続的成長を実現するため、日本事業の収益性改善、水まわり事業の海外成長の促進、イノベーションによる長期的な成長基盤の確立といった優先課題への取り組みを引き続き推進していきます。加えて、環境・社会・ガバナンス（ESG）の取り組みの強化にも注力し、すべてのステークホルダーに対して価値を提供することで、当社の存在意義である『世界中の誰もが願う、豊かで快適な住まいの実現』に向けてまい進してまいります。」

### ➤ 決算の概要（第1四半期）

#### 売上収益

2022年3月期第1四半期の連結売上収益は、前年同期比11%増の3,458億円となりました。国内事業の売上収益は、主に2021年3月期に行った事業売却の影響により、前年同期比1%減の2,372億円となりましたが、事業売却の影響を差し引くと、好調なリフォーム需要に支えられ、2%の増加となりました。リフォーム商材の売上構成比は、前年同期比で5.0pt増加し、41%まで上昇しました。水まわり事業を手がけるLIXIL Water Technology（LWT）の日本事業は、特にタッチレス水栓やタッチレス水栓標準搭載型の洗面化粧台の売上が伸長し、さらに中高級品価格帯の商品に対する需要が旺盛で、9%の売上増となりました。住宅建材事業を展開するLIXIL Housing Technology（LHT）は好調なリフォーム商材の売上に支えられ、前年の子会社売却の影響を除くと、2%の増収となりました。リフォーム用ドア「リシェント」の売上は前年同期比で41%増、リフォーム用樹脂内窓「インプラス」は36%増となりました。さらに、「スマート宅配ポスト」は前年同期比55%の売上増となりました。

海外事業の売上収益は、コロナ前の水準を大幅に上回って売上が伸長したLWTの欧米地域が牽引して、前年同期比で50%増の1,133億円となりました。EMEA（欧州・中東・アフリカ）地域では、前年同期比では66%増に、米国では、前年同期比では35%増となり、全地域、全販売チャネル、全商品カテゴリー

リーで、売上を伸ばしました。一方、中国では小売り販売チャネルと GROHE 商品が特に堅調で、前年同期比 8%の売上増となりました。アジア太平洋地域では、COVID-19 感染再拡大による影響がみられましたが、地域全体としては回復基調を継続し、58%の増収となりました。

## 事業利益

第 1 四半期の事業利益は、LWT の欧米市場の売上伸長と国内の構造改革の進展により、前年同期比で 257 億円増加、第 1 四半期としては、過去最高の 231 億円となりました。事業利益率は 6.7%に改善、売上総利益率は 5.0pt 改善して 36.2%に上昇しました。販管費率は 2.5pt 改善しました。

## 最終四半期利益

第 1 四半期の最終利益は、COVID-19 の感染拡大による経済活動の制限からの回復と構造改革の進展により、前年同期比 205 億円増の 168 億円となり、第 1 四半期としては過去最高益となりました。

### ➤ 第 1 四半期 事業・ESG ハイライト

LIXIL は、経営の基本的方向性に沿って特定した優先課題に注力し、より機動的で起業家精神にあふれた組織文化の構築と生産性向上に向け、変革の取り組みを加速しています。こうした取り組みは、収益性と財務体質の改善や[ステークホルダーに対して生み出す価値](#)の向上につながっています。

#### • **環境負荷の低減に向けた取り組み**

LIXIL では、[環境ビジョン 2050](#) で 2050 年までに事業プロセスと製品・サービスを通じて、CO<sub>2</sub> の排出を実質ゼロにし、水の恩恵と限りある資源を次世代につなぐために資源循環型の経済（サーキュラー・エコノミー）に貢献する取り組みを推進しています。この一環として今期初めに発売した高い断熱性を誇るアルミ窓「[サーモス A](#)」に続き、樹脂窓「[EW](#)」を開発、8 月より発売します。ドイツのプロファイン社の先進的な樹脂リサイクル技術を活用して、同社と共同開発した「EW」は優れた断熱性能に加え、樹脂フレームのリサイクル材使用率を従来品よりも約 3 倍に拡大しました。さらに、樹脂フレームとガラスの分離回収を容易にし、再生利用が可能な樹脂ラッピング材を使用しています。将来的には、行政とも連携し樹脂窓のリサイクルシステムの構築を目指していきます。

#### • **イノベーションによる長期的な成長基盤の確立**

当社は、将来性のある事業の創出に投資し、デジタル技術などを活用して、イノベーションを通じた持続的な成長を追求しています。当社の IoT（モノのインターネット）技術を活かしてスマートホームを実現する「[Life Assist 2](#)」はその一例です。ユーザーは、スマートフォンやスマートスピーカーを使って、玄関ドア、シャッター、エアコンや照明などの家電をコントロールすることが可能で、「Life Assist 2」を利用して、より便利で快適で安全な住まいを実現することができます。また、「Life Assist 2」により住宅設備機器や建材などの自動操作、遠隔操作、遠隔見守りが可能になります。例えば、ユーザーは、遠隔操作でペットのために室内の温度を調整したり、入室時に自動で照明をオンにしたり、子供を外出先から見守ることができます。今後「Life

Assist 2」に連携する製品やデバイスを拡大するとともに、地域コミュニティやサービスとの連携を模索するなど、当社のスマートホームのエコシステムのさらなる発展を推進していきます。

- **グローバルな衛生課題の解決を推進**

LIXIL は 2025 年までに衛生環境の改善に関する取り組みを通じ、1 億人の生活の質の向上を目指しています。現在も 4 人に 1 人が安全で衛生的なトイレを利用できず、また、5 人に 2 人が自宅で手洗い設備を利用できていません。この課題に取り組むため、LIXIL は 2018 年より、ユニセフ（国際連合児童基金）と「[MAKE A SPLASH!](#)」パートナーシップを通じて、開発途上国の子供たちの安全で衛生的なトイレや手洗い習慣の普及活動に取り組んできました。LIXIL の GROHE ブランドでは、このパートナーシップ活動を支援し、グローバルな衛生課題に対する啓蒙活動を行うため、欧州・中東 13 개국で 5 月から 8 月の間、「Energy for Life」キャンペーンを開催しています。LIXIL は、対象商品の一点購入ごとに、1 ユーロを「MAKE A SPLASH!」に寄付します。

- **人権擁護の促進**

LIXIL では、当社の従業員、エンドユーザー、サプライヤー、ビジネスパートナーなどすべてのステークホルダーの人権擁護に努めています。人権リスクを管理するためにガバナンスを強化し、人権デューデリジェンスのプロセスを明確化するために、「[LIXIL 人権方針](#)」を改定しました。また、改定後の方針には、潜在的なリスクを低減するために 2020 年に人権リスク評価を通じて特定した 7 つの「[LIXIL の人権重要分野](#)」を明記しています。今後は、部門横断組織である「人権デューデリジェンス・タスクフォース」の主導により、継続的に人権リスクを低減する取り組みをさらに推進していきます。

- **よりインクルーシブな社会の実現を推進**

共生社会の実現を推進する取り組みの一環として、公共トイレに対する多様なニーズとそれに応える機能に対する啓蒙活動を推進するため、バリアフリーでジェンダーニュートラルの公共トイレ「[LIXIL PARK](#)」を期間限定でオープンしました。この施設は、車椅子利用者に配慮したトイレ、オストメイト利用者に配慮したトイレ、非接触で操作できる仮想タッチパネルリモコン（空中浮遊スイッチ）付きトイレ、乳幼児連れの利用者に配慮したおむつ交換台付きのトイレ、授乳室、カームダウン・クールダウン室の 7 つの個室から構成されています。LIXIL では、今後もすべての人が安心して快適に使える公共トイレ空間を目指した取り組みを推進します。

- **社会的責任投資の代表指数の構成銘柄に 5 年連続で選定**

ESG 分野での継続的な改善への取り組みが評価され、LIXIL は、社会的責任投資（SRI）の代表指数である「FTSE4Good Index Series」、「MSCI 日本株女性活躍指数」、「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に [5 年連続で選定](#)されました。特に、ガバナンスおよびダイバーシティ&インクルージョン（D&I）の分野で、住宅設備・建設業界をリードする ESG 先進企業として高い評価を獲得しました。当社は、4 月に [D&I の戦略目標](#)を更新し、従業員が十分に能力を発揮できるインクルーシブな環境を整え、より顧客志向の組織へと転換を進めています。2030 年までに取締役および執行役の男女比を均等とし、全社の管理職についても女性比率 30%の達成を目

指しています。

※新商品のリリース情報は[こちら](#)からご覧ください。

#### About LIXIL

LIXIL は、世界中の誰もが願う豊かで快適な住まいを実現するために、日々の暮らしの課題を解決する先進的なトイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品と窓、ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発、提供しています。ものづくりの伝統を礎に、INAX、GROHE、American Standard、TOSTEM をはじめとする数々の製品ブランドを通して、世界をリードする技術やイノベーションで、人びとのより良い暮らしに貢献しています。現在約 55,000 人の従業員を擁し、世界 150 カ国以上で事業を展開する LIXIL は、生活者の視点に立った製品を提供することで、毎日世界で 10 億人以上の人びとの暮らしを支えています。

株式会社 LIXIL（証券コード: 5938）は、2021 年 3 月期に 1 兆 3,783 億円の連結売上高を計上しています。

LIXIL グローバルサイト：<https://www.lixil.com/jp/>

LIXIL Facebook（グローバル向け）：<https://ja-jp.facebook.com/lixilglobal/>

LIXIL Facebook（日本国内向け）：<https://www.facebook.com/lixilcorporation>